

# 日本郵便手紙作文コンクール文科大臣賞

## 友人との合唱 題材に

# 大竹さん(磐梯中)に伝達

日本郵便の第五十回手紙作文コンクールはがき  
 作文部門で最高賞の文部科学大臣賞を受けた磐梯  
 町の大竹夏穂さん(三ノ川磐梯中一年)への表彰伝  
 達式が十九日、町内の磐梯郵便局で行われた。

小鮎良平磐梯郵便局  
 長が大竹さんに表彰状  
 を手渡した。吉  
 田ひとみ校長が同席し  
 た。  
 作品は昨年三月、当

涼葉ちゃんへ  
 こんにちは。暑い日が続きますが、お元気ですか。  
 会津で一緒に歌った、三月の復興支援コンサートでは  
 涼葉ちゃんに会えて本当に良かったです。東京と会津の子供たちが  
 合同で合唱するから、ほとんどが初対面の人で、初めは  
 少しさんちようしていた。でも、一緒に歌う東京の子と  
 仲良くなりたいな、と思っていましたから、となりの涼葉  
 ちゃんに声をかけた。笑顔で返事してくれた時は、どうも  
 うれしがらな。それから一緒に「キセキ」を歌って、その日に  
 あったばかりだとは思えないくらい仲良くなったね。  
 そして本番。涼葉ちゃんの歌声。まわりのみんなの  
 歌声。いろいろな声重なって、歌う私たちも会場のお客  
 さんもひとつになったね。私は、東京と会津が歌ってな  
 がってひとつを感じたよ。歌ってすごい。  
 涼葉ちゃん、会津に来てくれてありがとう。また、一緒  
 に歌おう。そして、感動を届けよう。

夏穂より

文部科学大臣賞に輝いた大竹夏穂さんの作品



時磐梯一小六年生だっ  
 た大竹さんが会津若松  
 市で開かれた復興支援  
 コンサートに参加した  
 体験を取り上げ、とも  
 に合唱した東京都の女  
 子児童への思いをつづ  
 った。大竹さんは「話  
 しかけたら気さくに返  
 事をしてくれてうれし

かった。また一緒に歌  
 いたい」と語った。  
 中学生のはがき作文  
 部門には全国から七千  
 九百八十三点の応募が  
 あった。大竹さんは同  
 作品で暑中見舞い賞も  
 受けた。  
 小鮎局長(右)から表  
 彰状を受けた大竹さん

磐梯中学校

大竹 夏穂さん 文部科学大臣賞

暑中見舞い賞 W受賞

